

2015年 5月 12日

サイレックス・テクノロジー株式会社

サイレックス・テクノロジー、無線 LAN 環境調査用デバイス 『NX-1』 発売開始
～目に見えない無線を可視化、IoT 時代のワイヤレス機器の導入・運用を強力に支援～

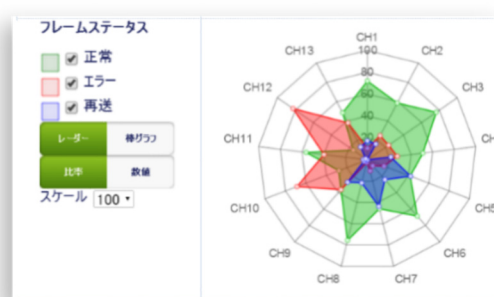
サイレックス・テクノロジー株式会社(本社：京都府精華町、代表取締役社長：河野 剛士、以下 サイレックス)は、無線 LAN 環境調査用デバイス『NX-1』(定価：97,800 円(税抜))を 5 月 12 日に発売いたします。

サイレックスは、“When it Absolutely Must Connect” (どうしてもつなげたい、そのときに)を事業の方向性を示すタグラインとして掲げ、「無線は切れるもの」という従来の常識を克服するための「切れない無線」を追求する技術・製品開発を進めています。本製品は無線 LAN 機器を開発・設置・サポートする機器メーカーおよびサービス事業者向けの調査用機器で、このビジョンの中核に位置づけられる製品です。製品に電源を入れ、対象の無線 LAN 環境に設置するだけで、無線 LAN 電波状況情報を収集し、収集したデータは本製品に搭載する簡易解析機能により Web ブラウザ上で視覚的に表現されます。従来と違い、専門技術者が高額な解析ソフトウェアをインストールした PC を現場に持ち込み調査作業をする手間とコストを削減します。

また、同日発表の無線 LAN 統合管理ソフトウェア「AMC Manager」との連携を計画しています。本製品と組み合わせることで、より対象無線 LAN 環境の把握利便性の向上を図っていきます。



無線 LAN 環境調査用デバイス『NX-1』



無線 LAN 環境調査モード解析結果画面

製品ページ URL : <http://www.silex.jp/products/survey/nx1.html?pr=150512n>

近年、ワイヤレス機器普及に伴い、無線 LAN で使われる 2.4GHz/5GHz 帯が混雑し、無線 LAN の通信安定性確保が課題となっています。米 Gartner の 2014 年 11 月 11 日発表の調査データによれば、IoT の普及に伴い、2020 年には 250 億個のデバイスがインターネットにつながると予想されており、通信安定性は今後ますます重大な課題になると考えられています。多数の無線機器が集中するオフィスや公共施設などでは混信により無線が繋がりにくくなったり、通信速度が極端に低下したり、通信が途絶するなどのトラブルがよく聞かれるようになってきました。業務用途での通信トラブルはビジネスを止めてしまい、復日に時間がかかる場合は生産性低下の原因となります。さらに、周辺の電波環境は日々変化していくため、気が付かないうちに徐々に通信環境が悪化していくこともあります。

本製品は目に見えない無線を可視化することで、無線機器の導入や通信障害対応等の安定運用を強力に支援します。

無線機器導入時には無線 LAN 環境調査 (サーベイ) モードを使って、周辺の電波状況を導入前に把握することでアクセスポイント設置時に効果的なチャンネル設計を行うことができます。

silex プレスリリース Vol. 182

無線 LAN 環境の通信障害対応については、従来、現地にサポート員を派遣し、電波状況を把握し、障害発生状況を再現させることからスタートする必要がありました。本製品を事前に設置しておけば、無線 LAN 環境測定モードで障害発生状況を記録したログを解析するところから対応を始めることができます。簡易的な環境調査結果はグラフ化され、視覚的に把握できるため、エンドユーザ側である程度の対応を図ることもできます。

より高度な解析を必要とするケースに対応するため、サイレックスは無線 LAN パケット解析サービスのメニューを今後準備していきます。当面サイレックスのワイヤレス製品採用取引先に限定したサービスとして開始し、徐々に対象範囲を広げていく予定です。

本製品は5月13日から15日の期間、東京ビッグサイトで開かれる第4回IoT/M2M展に出展されます。開催期間中、サイレックス展示ブース（ブース番号：西1-41）では、本製品をはじめ、エンタープライズ環境で確実なワイヤレス接続性が求められるワイヤレスソリューションが展示される予定です。

【搭載機能】

- ◆ 無線 LAN 環境調査（サーベイ）モード
 - ◇ 指定されたチャンネルを順にスキャンし、周辺の無線 LAN の電波状態を測定することが可能。
 - ◇ 測定結果は簡易解析機能によりグラフで表示。
 - 周波数・チャンネル別の帯域使用率
 - 無線フレームステータス状態（正常/エラー/再送）
 - デバイス情報（AP/クライアント、電波強度）
- ◆ スペクトラム・アナライザモード
 - ◇ 無線 LAN 以外の 2.4GHz 帯、5GHz 帯の電波の受信が可能。
 - ◇ 受信した電波の成分を分析し、各周波数帯に対する時間経過による電波強度の変動と、電波密度の分布をグラフ化。
 - ◇ 無線 LAN 通信が影響を受ける「ノイズ」からの回避をサポート。
- ◆ 無線 LAN 環境測定モード
 - ◇ 指定した周期で周辺の電波状態を測定。
 - ◇ 収集したデータは本製品の USB ポートに接続されたストレージデバイスへ保存。
 - ◇ 保存したデータを時系列でグラフ化することで、無線 LAN 環境の変動を観測することが可能。
- ◆ フレームキャプチャモード
 - ◇ 指定したチャンネルの無線 LAN フレームをキャプチャする機能を搭載。
 - ◇ キャプチャしたデータは、オープンソース LAN アナライザ「Wireshark」で参照が可能。
 - ◇ さまざまなデータ保存方式（上書き、ファイル分割）を搭載。

サイレックス・テクノロジーについて <http://www.silex.jp/index.html?pr=150512n>

サイレックス・テクノロジー株式会社(本社：京都府精華町)は、ワイヤレス技術をコアとし、機器をネットワークにつなげるハードウェア・ソフトウェアを提供する研究開発型企業です。

プリンタやMFPといったOA機器やワイヤレスルータなどのPC周辺機器をはじめ、医療機器・産業機器など確実な接続性が求められる機器にもネットワークやワイヤレスのノウハウを活かした製品を提案し、ビジネスの幅を広げています。品質基準を厳格に保つため、設計・開発・生産・品質保証といった一連のプロセスを「新しいはんな本社」

silex プレスリリース Vol. 182

に集約しています。海外パートナーとの連携や新市場開拓、新技術の情報収集・開発などグローバルなビジネス展開のため、北米・欧州・中国に拠点を設けています。

・記載された社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

【本プレスリリースに関するお問合せ先】

■サイレックス・テクノロジー株式会社

PR 担当窓口：経営企画室

E-mail : press@silex.jp

Tel : 0774-98-3781 Fax : 0774-98-3767



Twitter : @silex_marcom

http://twitter.com/silex_marcom



Facebook :

<http://www.facebook.com/silexjp>

